

2. 釧路市交通バリアフリーの展開方向と基本方針

現状の把握や市民懇話会およびフォーラム、第2回検討委員会検討部会、第1回市民会議などのこれまでの検討成果から、釧路市交通バリアフリー基本構想の基本方針・目標を設定します。

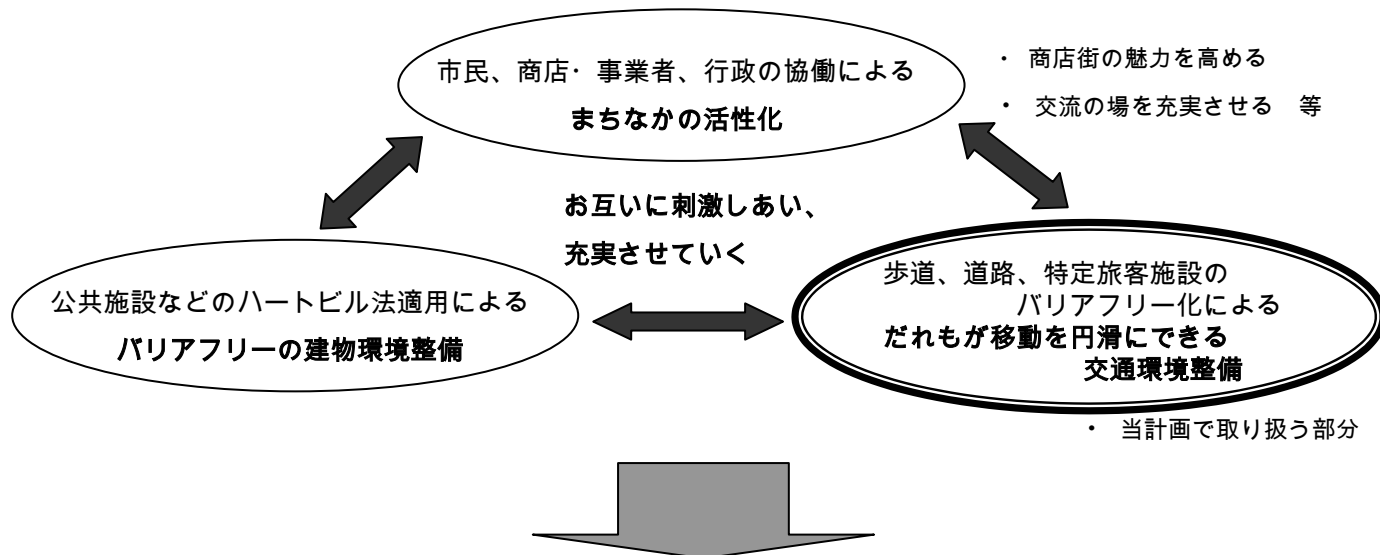
(1) 釧路市交通バリアフリーの展開方向

[現状と課題]

- ・ JR釧路駅を中心としたまちなかは北大通に商業施設、周辺に観光施設や公共施設が立地する釧路市の顔です。
- ・ JR釧路駅は、道東圏の主要交通拠点であり、不特定多数の方々が利用しております。
- ・ バリアフリー化の状況としては、JR釧路駅では部分的なバリアフリー化が進められている状況にあり、釧路駅前バスターミナルはバリアフリー化未整備の状況です。
身障者用駐車場・身障者用トイレはともに公共施設・病院で整備が進んでおりますが、商業施設や一般の商店などでは未整備のところが多い状況です。

[何のためのバリアフリー？、誰のためのバリアフリー？]

釧路市のまちなかは、北大通など市民が愛着を持ち育んできたまちなかです。まちなかの魅力を高め、人を呼び戻し、活気を取り戻すためには、お互いが充実することにより実現されます。交通バリアフリーはその一部分であり、それぞれが刺激しあい進めていくことにより、まちなかの活性化につながっていくことが望めます。



[釧路市交通バリアフリーの展開方向]

- ・ だれもが移動しやすく、使いやすいバリアフリー環境づくりが必要です。
- ・ ただ整備するのではなく、使う人の気持ちに合ったバリアフリー化が必要です。
- ・ ハードで対応できない部分はソフトで対応できる環境づくりが必要です。
- ・ 冬にも快適に過ごせる環境づくりが必要です。

(2) 釧路市交通バリアフリーの基本方針・基本目標

[基本方針]

人と人、心と心がつくりだし、だれもが生き生き活動できる
釧路のバリアフリー環境づくり

[基本目標]

- ・ だれもが移動しやすいバリアフリー環境づくりを目指します
- ・ 市民主体のバリアフリー環境づくりを目指します
- ・ 使う人の気持ちに合ったバリアフリー整備を目指します
- ・ 冬においても快適に過ごせる環境づくりを目指します

[釧路のまちなかをもっと良くするために目指す方向]

まちなかの魅力を高める

- ・ 商店街の魅力を高める
- ・ 空き店舗の活用
- ・ 長時間滞在できるまちなかを形成する
- ・ 駐車場を使いやすくする
- ・ 情報発信能力を高める

個性のある人々、釧路のまちなかを愛している人たちを増やし、活躍してもらう

まちなか居住を推進し、まちなかの定住人口を高める

バリアフリー環境を充実させる

- ・ 使う側に合った、使い勝手のいい、バリアフリー整備

完璧なハード整備を行うことは難しい：最低限のバリアフリー化は必要

- ・ ハード整備できない部分は人が補うバリアフリー
- ・ スペシャルトランスポートサービスの充実

市民、商店・事業者、行政の協働による冬の対応を図る